

「インフルエンザワクチンの効果に関する研究」

厚生科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)

＜主任研究者＞ 神谷 齋(国立療養所三重病院)

＜研究期間＞ 平成9～11年度

＜目的＞ 高齢者に対するインフルエンザHAワクチン(以下「ワクチン」という。)の有効性及び安全性の検討

＜方法＞

○1997/98、1998/99、1999/2000の3シーズンで調査を実施。

○病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム等へ入院(入所)している65歳以上の高齢者のうち、

①ワクチン接種希望者のうち研究に同意が得られた者について

- ・ワクチン1回接種
 - ・接種前後の抗体価の測定
 - ・副反応調査
 - ・流行前後の症状調査
- 等を実施。

②ワクチン接種を希望しなかった者のうち研究に同意が得られた者について
流行前後の症状の調査を実施。

＜結果＞

① 3年間を通じて、ワクチンの選定ウイルス株と流行ウイルスは一致。

② 有効性の正確な解析が可能となる条件を満たした1998/99シーズンを解析したところ
高齢者はワクチンの接種により
・発病リスクを34～55%減ずる
・死亡リスクを82%減ずる
ことが明らかとなった。

③ 1回のワクチン接種でA型インフルエンザウイルスに対する抗体価の上昇は良好。

④ 重篤な副作用は出現しなかった。